

1. 科目名 (単位数)	心理療法特論 (2単位)	3. 科目番号	PSMP6285
2. 授業担当教員	緒方 二郎		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	<p>本科目では心理療法の理論と方法を学ぶ。心理療法がなぜ世に出たのか、その歴史を紐解きながら、心理療法の様々なアプローチ・モデルを取り上げ、国内外の文献や事例に基づいて基礎的な知識を深め、理論に習熟していく。方法を学習するために、時に視聴覚資料を使用するが、基本はワークなど体験的理解を促す手法を取り入れ、ディスカッションも行う。</p> <p>科目全体を通して、心理療法の様々な理論を取り上げる。基本姿勢のヒントをサイコロトリートより学習し、特に来談者中心療法、精神分析的な心理療法、催眠面接法、臨床動作法といった心理療法モデルに注目する。</p> <p>その後、心理療法の実際として初回面接・見立て・フィードバックと継続面接への導入を系統的に学んでいく。さらにクライアントの特性や状況に応じた適切な支援方法を選択・調整を学び、理論や技法だけに目を向けるのではなく、今日の前にいるクライアントにとって何が最良であるかをしっかりと考えられる素養を身につける。</p> <p>最後に受講者の興味のある論文や事例を発表してもらい、ケースを読み解き、考えたことや疑問、感じたことを発表し、研鑽の場としての事例検討会における作法も身につける予定である。</p>		
8. 学習目標	<p>以下の点を学習目標として設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理療法の歴史を学び、心理専門職として心理臨床の意義や専門性、その基本的姿勢について明確に説明できる ・心理療法の様々な理論の知識を身につけ、それぞれ自分自身の言葉で論理的に説明できる ・人間理解のために、かつ心理療法の理論的な視点を備えた上で、事例について考え、ディスカッションできる ・クライアントの特性や状況に合わせて適切な対応ができるように自身の「対応の引き出し」を構築する ・初回面接、見立てとフィードバック、継続面接導入について、ワークやディスカッションを中心に理解を深め、心理臨床家としての素養を身につける ・研鑽の場としての事例検討会を念頭に、事例検討における作法を身につける 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート 課題	<p>学期中に下記のレポートを課す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理療法の実際1～3についてまとめ、自分が興味のある心理療法について調べ、レポートを提出すること 		
10. 教科書・参考書 ・教材	<p>【教科書】 なし</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村瀬嘉代子・青木省三(2014). 心理療法の基本 完全版. 金剛出版 ・成瀬悟策 (1968/2007). 催眠面接法. 誠信書房 ・成瀬悟策 (2016). 臨床動作法. 誠信書房 ・信田さよ子 (2020). カウンセリングで何が出来るか. 大月書店 ・田中新正・鶴光代・松木繁 (編著) (2020). 催眠心理面接法. 金剛出版 		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準 授業への参加の積極度、発表、提出物、授業内での発言などが対象範囲となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な基準の目安としては、学習目標をどれだけ達成したか ・プレゼンテーションやディスカッションを通じて、自身の意見・考えを伝えるだけでなく他の参加者の意見に開かれた姿勢で向き合う態度でいられたか。そして伝えたい事柄が適切に表現されているか ・レポートは、記述内容が講義内容に即していること、アカデミックな形式に従っていること <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習態度 30% ・ディスカッション 30% ・レポート 40% 		
12. 受講生への メッセージ	<p>授業内で指示しますが、事前の課題や宿題は必ず準備してきてください。</p> <p>最後の方は、参加者が心理療法に関する論文や自らの事例を紹介し、クラス内で議論するという授業形態を取る予定です。皆で支え合い、研鑽できる雰囲気重視します。積極的な参加を期待します。</p>		
13. オフィスアワー	別途アナウンスします。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	オリエンテーション 心理療法の歴史		
【学習の目標】	心理療法の成り立ちについて自分自身の言葉で論理的に説明できる。		
【学習の内容】	科目の運営について全員で共有。心理療法の歴史を紐解きながら時代背景や発展の経緯、今後の流れなど概要を説明する。		
【キーワード】	オリエンテーション 心理療法の歴史		
【学習の課題】	時代背景を抑えながら心理療法の歴史を紐解くと、なぜ心理療法が求められるようになったのか理解ができると思います。そこを押さえた上で心理療法をクライアントに適用できるようになってほしいと思います。		
【参考文献】	特になし。		

	【学習する上での留意点】 心理療法の歴史を自分なりに調べ、まとめておくこと。
2 . テ ー マ	心理療法を学ぶ前に～Hillの面接進行過程と面接技能、サイコロトリートから基本姿勢を学ぶ～
【学習の目標】	心理療法をクライアントに実施していく際に、どのような態度で臨めば良いのかその基本姿勢を学ぶ。
【学習の内容】	心理療法を実施する前段階として、ラポール形成の方法論についてHillの資料より紹介する。 サイコロトリートの事例や関わりから心理専門職の姿勢を理解する。
【キーワード】	面接進行過程と面接技能 サイコロトリート 心理専門職の基本的姿勢
【学習の課題】	心理専門職の基本的姿勢をHillの資料とサイコロトリートから学びます。 特にサイコロトリートは実践すると様々な葛藤に出会います。その葛藤と向き合いながら目の前のクライアントにとってどのように関わるのが適切であるかを考えてほしいと思います。そしてサイコロトリートの関わりはどこに心理専門職の基本的姿勢があるのかを見出してほしいと思います。ロールプレイングも交えて体験的な理解ができるように考えています。
【参考文献】	峰松修(2003). 臨床心理学 3(5). 654-658 金剛出版
【学習する上での留意点】	Hillの資料を読み込むこと、サイコロトリートについて事前に調べておくこと。
3 . テ ー マ	催眠心理面接法の理論と方法 1
【学習の目標】	催眠心理面接法の理論と方法について自分自身の言葉で、かつ論理的な文章で説明できる。
【学習の内容】	催眠の成り立ちやその理論と方法について概要を説明する。催眠を学ぶには各種学会の研修会で学ぶことが不可欠であるが、基本的な知識と事例を通して、理解を深める。また実験催眠法についても紹介する。
【キーワード】	催眠 実験催眠法
【学習の課題】	催眠は不思議な現象でもなく、誰もが当たり前体験できる。催眠を所謂魔術的に捉えるのではなく、人の深層心理に迫る非常に有効な方法として、偏ることなく理解してほしい。ロールプレイングも交えて体験的な理解ができるように考えています。
【参考文献】	成瀬悟策 (1968/2007). 催眠面接法. 誠信書房 田中新正・鶴光代・松木繁 (編著) (2020). 催眠心理面接法. 金剛出版
【学習する上での留意点】	催眠は理論も重要だが、まずはやってみることが大事である。経験する中で心理専門職としての素養も高めていけるので、実践に活かす、工夫するという意識を持って受講してください。
4 . テ ー マ	催眠法の実際
【学習の目標】	催眠法の実際についてワークを行う。
【学習の内容】	催眠面接法を参考に催眠誘導を行う。
【キーワード】	催眠 催眠誘導
【学習の課題】	ロールプレイングも交えて体験的な理解ができるように考えています。
【参考文献】	成瀬悟策 (1968/2007). 催眠面接法. 誠信書房 田中新正・鶴光代・松木繁 (編著) (2020). 催眠心理面接法. 金剛出版
【学習する上での留意点】	催眠は理論も重要だが、まずはやってみることが大事である。経験する中で心理専門職としての素養も高めていけるので、実践に活かす、工夫するという意識を持って受講してください。
5 . テ ー マ	力動論に基づく心理療法の理論と方法
【学習の目標】	精神分析的な心理療法の理論と方法について自分自身の言葉で、かつ論理的な文章で説明できる。
【学習の内容】	精神分析的な心理療法の成り立ちやその理論について概要を説明し、心理専門職にとって何が重要かを考え、取捨選択し、今後の学習に活かす。
【キーワード】	精神分析的な心理療法 フロイト 無意識 防衛機制
【学習の課題】	精神分析的な心理療法は単なる心理療法ではなく、「精神分析学」としても非常に多くの示唆を与えてくれる。クライアントも精神分析に出てくる単語を用いて説明することも多いが誤解も多く、内容も複雑であるため、範囲を絞って基本的な理解を重視する。ロールプレイングも交えて体験的な理解ができるように考えています。
【参考文献】	特になし。
【学習する上での留意点】	理論を扱うのではなく、理論から応用する、実践に活かす、工夫するという意識を持って受講してください。
6 . テ ー マ	来談者中心療法の理論と方法
【学習の目標】	来談者中心療法の理論と方法について自分自身の言葉で、かつ論理的な文章で説明できる。
【学習の内容】	来談者中心療法の成り立ちやその理論について概要を説明し、心理専門職にとって何が重要かを考え取捨選択し、今後の学習に活かす。
【キーワード】	来談者中心療法 ロジャース カウンセリングマインドの6つの条件 基本的な3つの態度
【学習の課題】	今日のカウンセリングに多大な影響を与えた来談者中心療法の理論や方法をもとに、心理専門職としての基本的な素養を再確認してほしいと思います。ロールプレイングも交えて体験的な理解ができるように考えています。
【参考文献】	特になし。
【学習する上での留意点】	理論を扱うのではなく、理論から応用する、実践に活かす、工夫するという意識を持って受講してください。
7 . テ ー マ	臨床動作法の理論と方法～肢体不自由児・者への心理リハビリテーション～
【学習の目標】	臨床動作法の理論と方法について自分自身の言葉で、かつ論理的な文章で説明できる。
【学習の内容】	臨床動作法は肢体不自由児・者への心理リハビリテーションより発展した経緯がある。心理リハビリテーションの実際を事例や研修キャンプの概要を紹介する中で理解する。
【キーワード】	臨床動作法 心理リハビリテーション
【学習の課題】	動作を心理現象として捉えるという臨床動作法の基本姿勢を持って、あらためて目の前のクライアントに接してみるといった体験が鍵となると思います。心理リハビリテーションの話題が中心となります。
【参考文献】	成瀬悟策 (2016). 臨床動作法. 誠信書房
【学習する上での留意点】	臨床動作法は理論も重要だが、まずはやってみることが大事である。経験する中で心理専門職としての

	素養も高めていけるので、実践に活かす、工夫するという意識を持って受講してください。
8. テーマ	臨床動作法の理論と方法～精神科臨床～
【学習の目標】	臨床動作法の理論と方法について自分自身の言葉で、かつ論理的な文章で説明できる。
【学習の内容】	精神科臨床で臨床動作法を行うとはどのようなことなのか、事例や実践を紹介する。
【キーワード】	臨床動作法 精神科臨床
【学習の課題】	心理療法として、より多彩な精神疾患を持つ方への適用を中心に説明します。
【参考文献】	成瀬悟策 (2016). 臨床動作法. 誠信書房
【学習する上での留意点】	臨床動作法は理論も重要だが、まずはやってみることが大事である。経験の中で心理専門職としての素養も高めていけるので、実践に活かす、工夫するという意識を持って受講してください。
9. テーマ	行動療法と認知行動療法の理論と方法
【学習の目標】	行動療法と認知行動療法の理論と方法について学ぶ。
【学習の内容】	行動療法と認知行動療法の成り立ちやその理論について概要を説明し、心理専門職にとって何が重要かを考え取捨選択し、今後の学習に活かす。
【キーワード】	行動療法 認知行動療法 第3世代の認知行動療法
【学習の課題】	精神分析を批判する形で出現した行動療法や、社会的学習論を受け、認知行動療法へと展開し、発展を遂げた第3世代の認知行動療法について自身の言葉で明確に説明できることを目指します。
【参考文献】	特になし。
【学習する上での留意点】	問題行動ばかりを取り上げるのではなく、動機や思考、認知を含めて行動を具体的に取るということを意識していただきたいと思います。
10. テーマ	心理療法の実際1 心理療法を実施する際の注意点
【学習の目標】	見立ての注意事項を学ぶ。
【学習の内容】	これまで理論や方法論を中心に学んできたが、基本に立ち返り、見立ての実際について学ぶ。この回を踏まえた上で再度これまで学習したことを紐解くことを奨励する。
【キーワード】	見立て 初回面接を終えたら 人間的理解
【学習の課題】	見立ての実際を紹介し、ロールプレイングも交えて体験的な理解ができるように考えています。
【参考文献】	特になし。
【学習する上での留意点】	クライアントの問題をどのように理解するか、そしてどの心理療法を選び、どのように支援していくかについて講義します。また事例検討を通じて、適切な支援活動について学修する。自分なりの見立て、他の参加者の見立てなど参考になる部分を身につけていってください。
11. テーマ	心理療法の実際2 フィードバックと継続面接への導入
【学習の目標】	フィードバックと継続面接への導入について注意事項を学ぶ。
【学習の内容】	これまで理論や方法論を中心に学んできたが、基本に立ち返り、フィードバックと継続面接への導入についての実際について学ぶ。この回を踏まえた上で再度これまで学習したことを紐解くことを奨励する。
【キーワード】	フィードバック 継続面接
【学習の課題】	フィードバック・継続面接の実際を紹介し、ロールプレイングも交えて体験的な理解ができるように考えています。
【参考文献】	特になし。
【学習する上での留意点】	フィードバックの仕方は相手の特性や状況に則したものである必要があります。不適切であれば、クライアントは時に傷つき、困惑します。そして継続面接につなげていくためにどのような配慮と見通しを持てるような対応が必要かを考えながら受講してください。
12. テーマ	クライアントの特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整
【学習の目標】	クライアントの特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整について学ぶ
【学習の内容】	日々出会うクライアントは同じ人はいない。それぞれ特性や状況は違う。心理専門職はどのようなクライアントでも柔軟に対応し、その人にとって治療的な体験となるように支援方法を取捨選択しなければならない。この回を踏まえた上で再度これまで学習したことを紐解くことを奨励する。
【キーワード】	特性や状況に応じた支援方法
【学習の課題】	自分の得意な方法に固執し、クライアントに自分の方法に合わせるように求め、心理療法を進めていくのは不適切である。相手の反応を細かく観察し、時に修正し、時に調整できるように柔軟な姿勢を学んでください。
【参考文献】	特になし。
【学習する上での留意点】	クライアントの特性や状況をどのように捉え、支援方法を組み立てていくのか、その実際から臨床の工夫を学んでください。
13. テーマ	事例検討と討論1
【学習の目標】	発表担当の受講者が事例を紹介する。
【学習の内容】	他の受講者は、発表内容について疑問点や考え、感じたことを発表者に伝え、発表者を含めクラス全体で討議する。
【キーワード】	事例検討
【学習の課題】	事例検討を全員で行い、その事例の理解を深める。事例検討会の作法を身につける。
【参考文献】	特になし。
【学習する上での留意点】	事例検討に正解はありません。これまでの知見を参考に誌上の情報だけでイメージーションを働かせていくことが重要です。そして周りの意見を参考に自分なりにその事例を紐解き、理解していくことを学んでください。

14. テーマ	事例検討と討論 2
<p>【学習の目標】 発表担当の受講者が事例を紹介する。</p> <p>【学習の内容】 他の受講者は、発表内容について疑問点や考え、感じたことを発表者に伝え、発表者を含めクラス全体で討議する。</p> <p>【キーワード】 事例検討</p> <p>【学習の課題】 事例検討を全員で行い、その事例の理解を深める。事例検討会の作法を身につける。</p> <p>【参考文献】 特になし。</p> <p>【学習する上での留意点】 事例検討に正解はありません。これまでの知見を参考に誌上の情報だけでイメージーションを働かせていくことが重要です。そして周りの意見を参考に自分なりにその事例を紐解き、理解していくことを学んでください。</p>	
15. テーマ	事例検討と討論 3
<p>【学習の目標】 発表担当の受講者が事例を紹介する。</p> <p>【学習の内容】 他の受講者は、発表内容について疑問点や考え、感じたことを発表者に伝え、発表者を含めクラス全体で討議する。</p> <p>【キーワード】 事例検討</p> <p>【学習の課題】 事例検討を全員で行い、その事例の理解を深める。事例検討会の作法を身につける。</p> <p>【参考文献】 特になし。</p> <p>【学習する上での留意点】 事例検討に正解はありません。これまでの知見を参考に誌上の情報だけでイメージーションを働かせていくことが重要です。そして周りの意見を参考に自分なりにその事例を紐解き、理解していくことを学んでください。</p>	